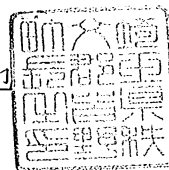


皆 建 第 1277 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

埼玉県秩父郡皆野町長 石 木 戸 道 也



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記について、
別添のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県皆野町

当町の現在の道路整備状況は、町民にとって未だ満足できるものではなく、住民アンケート調査結果においても、道路整備は重要な課題・住やすいまちづくりのための施策として要望が大きく、その促進が熱望されている。

国・県道の整備は、当町だけの問題ではなく、近隣市町村との一体化した地域づくり面からも地域の重要な事項である。具体的には、主要地方道皆野荒川線に架かる老朽化した「皆野橋」の架け替えは、当町と秩父市等を結ぶ重要な課題であり、地域の交流及び秩父地域の交通の要として橋の架け替えを埼玉県へ要望しているところである。又国道140号皆野寄居バイパスが開通し、現在皆野秩父バイパスの工事が進行中であるが、その完成が秩父地域の発展に寄与すると確信しており、順調に工事が促進されることを熱望する。その他、主要地方道皆野両神荒川線の歩道整備や改良工事、幅員が狭い「栗谷瀬橋」の架け替えや主要地方道秩父児玉線の改良促進なども、今後の整備促進を望んでやまない。

町においても、町道の道路整備を毎年進めているが、当町の財政規模では、道路整備に充当できる財源には限りがあり、生活道整備として道路構造令第3種の5級程度の部分的な改良が多く、現在の国・県の補助事業に該当しない。このような地域に密着した住環境整備に対する補助金を検討いただけると幸いである。

道路行政は、地域防災上からも重要な役割を負うものであり、地震等の広域的な災害時にも対応できるような道路網の形成に向けて、今後も国県道の道路整備を望むものである。

②-1 地域の現状と抱える課題

埼玉県皆野町

○現状

当町は、東西に羽を開いた「チョウ」のような形状をしており、その中央部を南北に国道140号と同バイパスが縦断している。さらに各地区へ通じる主要地方道5路線、一般県道5路線を軸として町道・林道が接続し、生活基盤をなしている。

- ・皆野駅を中心とした市街地では、主要道路である県道の歩道の整備が遅れており、交通安全の確保及び中心市街地活性化という面からも早急な対応が望まれる。又町の市街地でも町道の改良率は約27%であり（全町の改良率は、13.6%）、幅員狭小な道路等未整備路線が多数あり、生活環境の向上のため、町道整備が必要である。

さらに、その他の地域でも、町の主要な道路である県道の改良（歩道整備）及び生活道としての町道整備が住民のニーズとして大きなウエイトを占めている現状である。

- ・少子・高齢化及び核家族化に伴い当町の中心部（大字皆野）付近への人口の集中化が進み、山間部では俗に言う「限界集落」の恐れもあり、道路整備及び維持管理に支障を来す心配が生じている。

○課題

- ・国道140号皆野寄居バイパスも開通し、皆野秩父バイパスの整備も進んでいる状況から、早急な市街地へのアクセス道路の整備が重要な課題である。

- ・皆野駅・親鼻駅付近の市街地を形成している地域の県道の歩道整備（改良工事）については、商店街が形成されていることから、住民の合意を得ることが難しいと予想される。秩父県土整備事務所との協力体制が欠かせない。

- ・町道整備では、改良率が低く課題が山積している状況にある。特に生活道整備として幅員狭小な道路の解消、山間部地域でのすれちがいのできる道路整備（待避所等）、見通しきかないカーブ・急勾配箇所の早急な整備が課題である。

- ・道路整備は町の町民生活に直接関する主要な事項であるが、近年の町の財政状況からも道路整備に充当できる財源は、限られており、その財源確保も課題である。

②－２ 地域を目指すべき将来像

埼玉県皆野町

「住民の夢が育める魅力あるまち・安全で安心して生活できる快適なまち」を目指してまちづくりを進めており、恵まれた自然環境の保全と有効利用に努め、自然環境に調和した秩序ある市街地の形成や道路の整備、さらに災害から住民を守るために、防災などの体制を強化するなどの施策を実施する。

道路行政としては、下記事項を基本方針として整備する計画である。

①当町の中心的地区である皆野地区

町の中心的な皆野駅及び親鼻駅周辺の既成市街地に人口が集中しスプロール化が進んでいるため、都市計画区域については、都市計画道路の決定を推進し、道路整備、皆野駅前周辺の開発整備、秩序ある市街地の形成を推進する。

②その他の山間部地域

農林業や豊かな自然に恵まれた地域を活かし観光・スポーツ・レクリエーションの拠点となるよう、生活、生産、観光道路としての機能向上を図る。特に地区内を通過する県道は集落内で狭小であることから、道路拡幅整備を促進する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県皆野町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域市町村の連携の強化	主要地方道皆野荒川線「皆野橋」架け替え	皆野町と秩父市太田・吉田、小鹿野町方面を結ぶ秩父地域の交通の要所であり、通勤通学等大勢の住民に利用されている。当橋りょうを整備することは、当地域の経済及び市町村間の交流に大いに寄与するものである。	皆野橋は、幅員も狭く、歩道もない老朽化している橋である
・ 中心市街地の活性化	主要地方道皆野荒川線皆野町大字皆野地内の歩道整備	当路線は未整備であり、その沿線には当町の主要な商店街がある。歩道の整備は商店街の活性化には、欠かせないものである。	用地確保等は、相当な困難が予想される。
・ 通学路の安全確保	主要地方道皆野両神荒川線皆野中学校、皆野高校付近の拡幅改良	当路線は一部暫定的な歩道が設置されているが、未整備であり生徒の通学路として利用されているが、大型車の交通も多く又幅員が狭いため非常に危険な状況である。当整備により生徒及び住民の安全な交通を確保したい。	早期に実現したい道路整備である。
・ バイパス開通に伴うアクセス道路	町道皆野18号線及び町道皆野4号線等の拡幅改良	国道140号皆野寄居バイパスの開通に伴い町の市街地への交通車両の増加が予想される。アクセス道路を整備することは、町の活性化、商店街の繁栄等に寄与するものである。	財源の確保が容易ではない。